

京都文化カプロジェクト 実施計画の策定について（案）

- 1 **策定趣旨** オール京都で、2020年東京オリンピック・パラリンピック等を契機に、国内外に京都の魅力を伝え、もてなすとともに、京都の総合的な文化力を示し、世界の人々と協働して新たな創造の潮流が起こせるよう、基本構想を踏まえ、策定する。
- 2 **策定期間** ブラジルのリオデジャネイロ オリンピック（8月5日～21日）、パラリンピック（9月7日～18日）が終了する9月末を目途とする。
- 3 **策定主体** 設置要綱に基づき、企画運営委員会と実施計画策定専門部会とが合同で検討し取りまとめたものを、理事会が審議し決定する。
- 4 **対象期間** 文化プログラムの実施期間は、国のオリンピック・パラリンピックムーブメントのキックオフ事業である「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム（WFSC）」に合わせて、2016（平成28）年10月からスタートし、東京大会終了後までとする。
 - ※ 東京オリンピック（7月24日～8月9日）
 - 東京パラリンピック（8月25日～9月6日）
- 5 **策定方針**
 - (1) 京都文化カプロジェクトの中心として考えられるテーマを具体的な事業にデザインした各年のリーディング事業と、国内外に向けた情報発信など毎年実施するベース事業を設定する。
 - (2) 基本構想に掲げられた「世界に開かれた京都」を目指していくために、世界との関わりを切り口とした年次テーマを設定する。
 - (3) 東京大会終了後を見据え、4年間（2016年度～2020年度）の長期的な事業計画を策定するとともに、毎年の事業計画を見直し、より具体化した次年度の事業計画を策定する。

<参考>

各年の主なイベント

- 2016年 スポーツ・文化・ワールド・フォーラム（京都会場：10月19日～20日）
- 2017年 東アジア文化都市（2月～11月）、大政奉還150周年
- 2018年 明治維新150年
- 2019年 世界博物館大会（9月1日～7日）
- 2020年 東京オリンピック（7月24日～8月9日）、
パラリンピック（8月25日～9月6日）

京都文化カプロジェクトの中心として考えられるテーマの例示（基本構想より抜粋）

① 伝統文化×現代芸術 京からオリンピックを祝う事業

- ・オリンピックの開催を喜び気持ちを表すため、世界から京都を訪れる人々と府民・市民が京都文化を楽しむ「宴」を開催
- ・アート展示、音楽、いけばな、能・狂言、舞踊、インスタレーションなどのコラボレーションや、文化施設の回遊など京都らしい催し

② 京のまちじゅう博覧会

- ・国公立4館が連携した京の至宝の一斉公開や、博物館・美術館、寺院・神社、庭園、伝統産業の工房や老舗店・旧家等の所蔵品公開

③ 京のまちじゅう舞台

- ・楽劇、演劇、舞踊、伝統芸能などの舞台芸術や、誰もが参加できる「踊りまくり」イベント

④ 寺院・神社等で文化発信拠点事業

- ・寺院・神社等の境内で、伝統的な行催事の復興などによる新たな集いの発信

⑤ 京のもてなし—茶の湯・いけばな・和食 等

- ・まちじゅうでのお茶のおもてなしや、京料理をはじめとする和食や京菓子、いけばなも多くの人々に楽しんでもらう

⑥ 日本の文化・学術などに関するシンポジウム等

- ・明治維新150年、京都学、源氏物語などをはじめ日本のアカデミックな魅力を京都から伝える学術系イベント

⑦ 多様な実施主体が京都の文化の底力をみせる事業

- ・先端産業、障害者の芸術、京都の北から南まで豊かな自然や永い歴史に培われた海・森・お茶の京都、日本遺産 等

⑧ 未来に広がる新京都文化

- ・未来につながる府民・市民から全く新しい提案の出現を期待